

ARIK no.76



きれいになりました☆ 2018年4月1日 祝/リニューアルオープン

「5・6階展示室」「ふれんどりーギャラリー」の壁クロス、「ハイビジョンギャラリー」のモニターを新しく、「キッズルーム」のスペースを拡大しました。
●4月21日(土)～6月17日(日) 秋田県立近代美術館リニューアルオープン記念「北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景」



●キッズルーム



●4月1日～5月13日:スーパーリアリズムの世界



●5月19日～7月1日:パステル画の世界



●ハイビジョンギャラリー



●5月12日・13日:スーパーリアリズムに挑戦(美術館教室) 講師:野崎文隆氏(グラフィックデザイナー)



●6月2日:パステル画教室(美術館教室) 講師:鈴木 司氏(秋田公立美術大学教授)



●8月5日:ひしゃびしゃアート。当日は雷雨のため、屋内で「ローラーであそぼう」に挑戦しました。



●7月29日:Go! Go! 走るぞ! 木のクルマII (みんなの教室) 講師:当館学芸員

北斎の富士

富嶽三十六景と富嶽百景

2018.4.21(土) - 6.17(日)

当館のリニューアルオープンを記念して、葛飾北斎の「富嶽三十六景」と「富嶽百景」を一堂にご紹介しました。「富嶽三十六景」は、表富士36図と裏富士10図の全作品を展示、また和綴じ本「富嶽百景」は、全作品を1図ずつ額装してご覧いただきました。関連イベントでは、浦上蒼穹堂代表の浦上満氏による記念講演会やトリオ・ドルチェによるコンサートなどを開催し、多くの方々に喜んでいただきました。来場者の皆様には、北斎の描く富士と江戸期の人々の営みを見ながら、江戸時代を旅する気分を味わっていただけたのではないのでしょうか。(担当:保泉、小林)



講演会「世界を驚かせた北斎」貴重なお話にみなさん夢中でした。●4月21日



「トリオ・ドルチェコンサート」すてきなひとときをありがとうございました。●5月20日

- 講演会「世界を驚かせた北斎」 4.21
講師：浦上 満 さん（浦上蒼穹堂代表）
- 当館担当学芸員によるギャラリートーク 4.22、5.13
- ミュージアムコンサート「トリオ・ドルチェ コン서트」 5.20
出演：北嶋奏子さん（ヴァイオリン）
吉田妃呂子さん（フルート・歌）
佐々木久美子さん（ピアノ）
- ワークショップ「版画・北斎の富士山に挑戦！」 5.27
講師：当館学芸員



ワークショップで「彫り・摺り」を体験！ ●5月27日



秋田市からお越しのご夫婦に！ ●5月25日



担当学芸員2名によるギャラリートーク ●4月22日、5月13日

2018コレクション展 第1期・リニューアルオープン記念

うけつがれてゆくもの

秋田県立近代美術館所蔵
・名作セレクション

2018.4.1(日) - 6.17(日)

作品はみんなの宝です。



担当学芸員によるギャラリートーク。小田野直武《唐太宗花鳥山水図》の前で ●5月26日

平成30年度のコレクション展第1期は、改修工事後のリニューアルオープンを記念し、秋田県立近代美術館所蔵の名作セレクションをご紹介します。当館には平成6年の開館以来、約2,700点の作品が収蔵されています。今回は、その中から厳選した、日本画・油彩画・版画・工芸・書の人気作品42点をお楽しみいただきました。秋田蘭画の小田野直武をはじめ、画壇に大きな足跡を遺した平福徳庵、寺崎廣業、福田豊四郎らの県出身作家や、横山大観、鏑木清方、藤田嗣治といった著名な作家たちの作品を、じっくりと鑑賞されるお客様の姿が見られました。当館のコレクション展では、古いものは江戸時代後期に描かれた作品も、大変良い状態でご覧いただいています。美術館は、展示の企画はもちろん、作品を調査・研究しながら大事に保管し、後世に伝えていくという役割を担っています。それが今回の展覧会テーマ「うけつがれてゆくもの」の意味するところでもありました。(担当:藤井)

○当館担当学芸員によるギャラリートーク 4.1、4.28、5.26

チームラボ★

踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地

2018.6.30(土) - 9.2(日)

65日間に渡って開催されたチームラボ秋田展は、会期中8万人を超えるお客様をお迎えし、大盛況のうちに幕を降ろすことができました。今回の展覧では、チームラボの体験型知育空間である「学ぶ!未来の遊園地」に加え、東北で初公開となった「アート」作品も多数展示され、幅広い年代の方々にご来場いただきました。その場に居合わせた人たちが共に創り上げる空間や瞬間が、癒やしや憩いの記憶になって心に残り、それぞれの作品に込められたメッセージが多くの方々に伝わったとすれば、開催館として大きな喜びです。

(担当:奈良、高橋)



▲写真は2万人目のお客様をお迎えしたときのものです。



開会式。チームラボキッズ代表・松本明剛氏よりごあいさついただきました。●6月29日



松本代表(右から3人目)をはじめ、ご来賓をお迎えしてテープカット。●6月29日



「世界はこんなにもやさしくつくしい」一期一会の世界にひたりました。



「お絵かき水族館」みんなのデザインしたお魚が、のびのびとおよぎまわりました。

出前美術館

— あきたの色と形 —

2018.7.27(金) - 7.31(火)

7月27日(金)から31日(火)の5日間、秋田市の秋田県立美術館 県民ギャラリーを会場に、「出前美術館—あきたの色と形—」を開催しました。近代美術館の収蔵品から、小田野直武、平福百穂ら秋田ゆかりの作家による日本画、油彩画、彫刻、工芸、写真、版画などあわせて42点を展示しました。7月30日(月)には、出前美術館の会場で、第71回全国造形教育研究大会秋田大会の公開授業が行われ、思いを伝え合い、見方を深め合う児童生徒たちの姿が見られました。(担当:小林)



公開授業(横手市立十文字第一小学校4年生)

親子でご来場「どんなお話かな?」●7月30日

能代エナジウムパーク 出前美術展

中村征夫写真展「美ら海 きらめく」

2018.7.11(水) - 7.25(水)

世界78カ国の海に潜り、その魅力を報道してきた水中写真の第一人者・中村征夫。本展では、沖縄の海にすむ愛らしい生きものたちの一瞬の輝きを撮影した作品38点をお楽しみいただきました。(担当:鈴木秀)



沖縄の海「美ら海」(ちゅうらうみ)。多くの生きものたちの姿をご覧いただきました。

HUNTER GATHERER TOMOKO KONOIKE

鴻池朋子 ハンターギャザラー

2018.9.15(土) - 11.25(日)

アーティスト・鴻池朋子(こうのいけともこ)の、県内初の大規模個展です。

現在の私たちの文化は、「ハンターギャザラー」(狩猟採集民)という原型を発展させてきたものです。獲物を狩って料理する、木を伐採し石を積み家にするなど、自然界から道具を通してハンティングし、人間界に引きずり込みそれらを組み合わせる「ものづくり」。しかし、このハンターギャザラーの応用やカスタマイズだけでは、いつまでも「人間界へ引きずり込む」方向にのみ文化が進みます。この原型を芸術によっていかに解体し、転換できるかということが、今回の展覧会での鴻池の試みです。熊などの獣の皮をはじめ、様々な素材を用いた新作によって、ハンターギャザラーを問い直す鴻池の最新展。ぜひこの機会にご覧下さい。

(担当: 鈴木京、藤井)



「Hunter Gatherer」阿仁川上り映像より 2018年 ©Tomoko Konoike

- 鴻池朋子アーティストトーク 9.15、11.24
- パフォーマンス&トーク「Frozen River」 10.28
ゲスト: 山川冬樹さん(ホーメイアーティスト)、鴻池朋子さん
- ワークショップ「精霊のパバヌキ」 10.27
講師: 大山功一さん(ゲームデザイナー)、鴻池朋子さん
- 担当学芸員とABSアナウンサーによるギャラリートーク 9.30、11.10

エネルギーのことを考えています。

2018コレクション展第2期 今こそ、旅しよう - 所蔵品でたどるすばらしき秋田 -

2018.9.10(日) - 11.11(日)

本展では、秋田めぐりの旅をテーマに、秋田ゆかりの作家によって描かれた名勝地や、人々が自然と深く関わりながら綴ってきた生活の様子をたどります。人々を魅了し、エネルギーにあふれるも厳しさをたたえた自然の風景、豊かな自然が人間にもたらすもの、秋田おばこ、秋田の土地に育まれ、受け継がれてきた祭・神事など、作家がとらえた秋田の姿をお楽しみいただけます。『解体新書』の挿図を手掛けたことで知られる小田野直武(1749-1780)による秋田蘭画も展示します。(担当: 小林)



福田豊四郎《山の秋》1931(昭和6)年

○ 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク 9.16、10.14

INFORMATION

2018年度・下半期の展覧会

特別展・企画展

- 鴻池朋子 ハンターギャザラー 9.15~11.25
- 横山津恵展 12.1~2019.2.11

コレクション展

- 第2期 今こそ、旅しよう 9.10~11.11
- 第3期 もの・かたる・え 11.14~2019.1.27
- 第4期 春を待つ 1.30~4.7

2018.12.29~12.31、2019.1.15~1.24は休館いたします。

館外展示など

- ネットワーク事業「紺野五郎」(会場: 秋田県立図書館) 9.29~10.25

つくる、しる、たのしむ (2018年度下半期)

つくる

美術館教室(中学生以上一般)

- 日本画教室『植物を描く』(全2回) 11.3、4
講師: 山田美知男さん(画家・日本美術院院友)

みんなの教室(小・中学生) ※小学校低学年児童の参加は要保護者同伴

- 子どものための日本画教室Ⅱ「岩絵の具であそぼう」 10.21
講師: 当館職員

しる・たのしむ

- ミュージウムコンサート「サクソ四重奏コンサート」 12.2
- 館長講座『「雅」の造形—平安時代の美術と文化』
 - 第6回 絵巻の世界Ⅰ—源氏物語絵巻と鳥獣戯画 10.20
 - 第7回 絵巻の世界Ⅱ—信貴山縁起絵巻と伴大納言絵巻 11.10
 - 第8回 書と工芸の繊細華麗な世界 12.8

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休館日 12.29~31、2019.1.15~24

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamama@rnac.ne.jp

交通 ●お車で: 秋田自動車道・横手インターより3分
●バスで: 横手バスターミナル(JR横手駅東口)〜ふるさと村15分

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索!
twitter、facebookも開設しています!

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2018年9月30日発行

